



平成26年9月3日

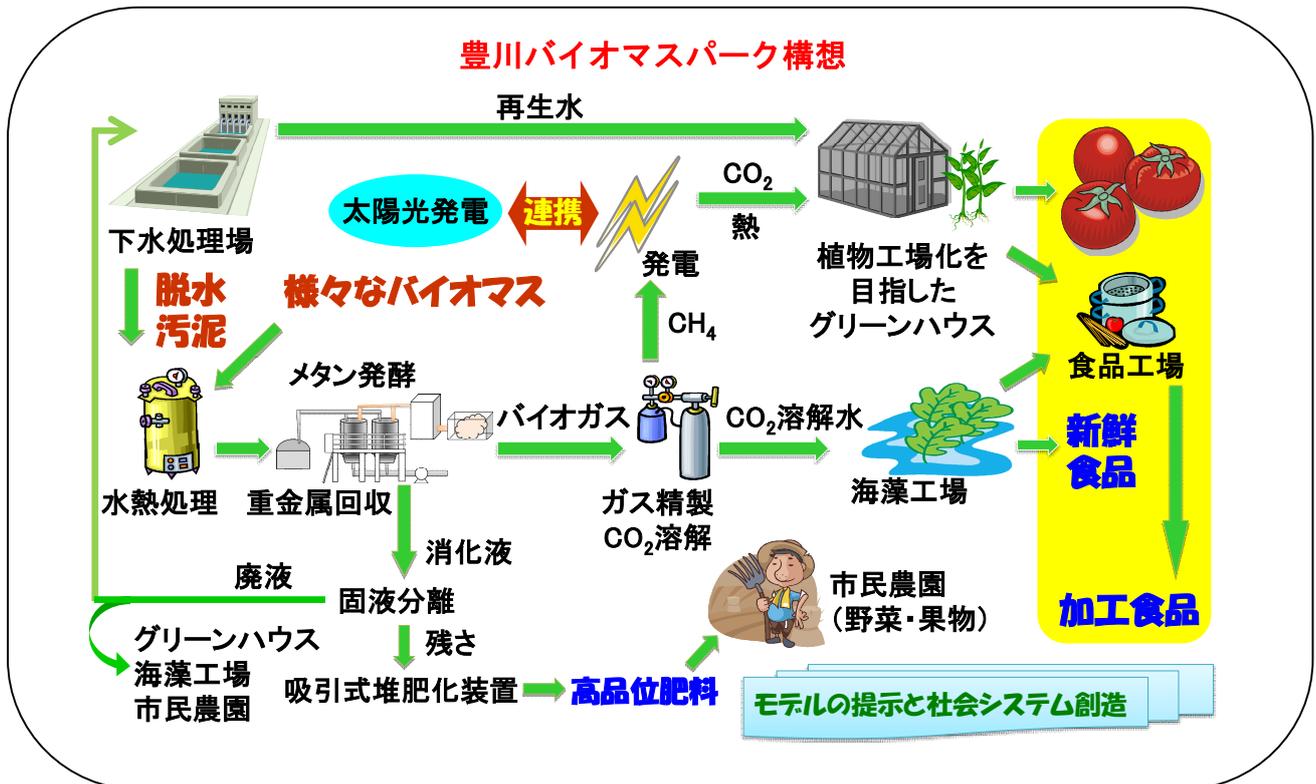
【豊川バイオマスパーク構想】

大学初！地域との連携事業で
平成26年度（第7回）国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）
イノベーション部門を受賞

循環のみち下水道賞は、日本全国の取組みから、健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組みに対し、平成20年度に創設された国土交通大臣表彰です。

今年度は、受賞部門の構成が刷新され、本件は、新たな価値の創造に貢献する取組みとして、イノベーション部門を受賞しました。

これまでの表彰事例で、今回が、大学初の「循環のみち下水道賞」受賞です。



【概要】

「豊川バイオマスパーク構想」は、愛知県の管理・運営する流域下水道の処理場である豊川浄化センター（豊橋市新西浜町）をフィールドとして、豊橋技術科学大学、愛知県をはじめ、関係する市・企業・大学・市民らが連携して行っている実証研究（文部科学省 先導的創造科学技術開発費補助金「バイオマス・CO₂・熱 有効利用拠点の構築」（平成23年度－27年度））です。

下水汚泥および生ごみ等を資源として有効利用し、

- 1) バイオガス（メタンガス）発電
- 2) バイオガスから得られるCO₂の作物栽培・海藻養殖への利用
- 3) メタン発酵消化残渣の高品位肥料化
- 4) 下水再生水のグリーンハウスでの利用等

を実証しています。

施設の設置後、広報活動に努め、各種報道も多くなされたことにより、これまでに、1,000人を超える見学者に来ていただいております。



水熱処理装置による下水汚泥や生ごみの可溶化



水熱処理を施した下水汚泥と生ごみの混合消化試験



バイオガス（メタンガス）発電後の排熱・排CO₂を利用した温室トマト栽培

<受賞団体>

国立大学法人 豊橋技術科学大学、愛知県東三河建設事務所

<担当者>

- ・大門 裕之（国立大学法人豊橋技術科学大学 グローバル工学教育推進機構国際交流センター 教授、同大学環境・生命工学系 兼務）
- ・青山 知弘（愛知県 東三河建設事務所 都市施設整備課 課長補佐）

<表彰式>

- ・日時：平成26年9月10日（水）13:00～14:55（予定）
- ・場所：国土交通省（合同庁舎3号館）10階共用大会議室

本研究者である本学 大門裕之教授への個別取材も受け付けますので、ご希望の場合は下記広報担当までご連絡下さい。

【本件に関する連絡先】

グローバル工学教育推進機構国際交流センター 教授、環境・生命工学系 兼務
大門裕之 TEL: 0532-44-6905

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤・小島 TEL:0532-44-6506